

AICHI GAKUIN UNIVERSITY NEWSLETTER



# AG PRESS

大学だより

2022

3

学位授与を祝して / シューカツの現場から「学生の二極化」

vol.220



卒業生へ贈る言葉  
就職活動体験記

大学のつくり方 アイガク部署研究  
＜国際交流センター編＞

location: 1号館(楠元キャンパス)



令和3年度

# 学位授与を祝して

生きがい、働きがいを求めて



愛知学院大学 学長  
愛知学院大学短期大学部 学長

引田 弘道

「他者、公のために役立つ」  
この価値観のもとに行動し  
悔いのない人生を

皆さん、ご卒業おめでとうございます。コロナ禍で大学の授業も対面と遠隔を繰り返してきました。学期の途中で慣れない遠隔授業にのぞむのは、さぞ大変だったと思います。ただ皆さんにとって、この三年、四年あるいは六年間は、大学の授業とは何か、大学生活で一番重要なものは何かを考える大きなきっかけになったことでしょうか。これはまた、人生を見つめ直す機会でもあったと思います。何気ない日常が奪われた時、私たちは途方に暮れてしまいます。しかし、何とかして活路を見出し、前に進んでいかなければなりません。

社会人として、これから長い人生を歩んでいかれるとき、皆さんは「何のために生き、何のために働くか」を自問自答されることもあるでしょう。「働きがい」とは、皆さんが職場に働く価値を見出すことです。給料、職場の働きやすさなどといった衛生的要因はもちろん、達成感、社内外からの評価、精神的満足感といった動機的要因も大切です。職場で必要とされたい、自身の仕事で社会に貢献したいといった自己実現欲求を満たすことも重要です。これはまた皆さんにとっての「生きがい」にも通じるものです。生きる価値を見出すことは私たちが生涯にわたって模索すべきものと考えています。

生きがい、働きがいを模索するためには、より多くの人たちと交流し、読書を重ね、思索し、自らの価値観を何に求めるかを決めなければなりません。金銭欲、名誉欲などを満たすことも大切ですが、私は仏教でいうところの利他、つまり「他者、公のために役立つ」ことに価値を置いていただきたいと願っています。今後、難局にある時、または難しい判断を迫られた時、この価値観をもって行動すれば悔いのない人生を送れるのではないのでしょうか。

現在、世界は持続可能な社会を目標に、誰一人取り残すことなく、皆が協調し合いながら、環境に配慮した経済発展を目指していることとしています。グローバル化が進み、世界に不平等が蔓延する現代社会の反省から、より良き将来を見据えたこのSDGs（持続可能な開発目標）の取り組みが叫ばれています。この取り組みの精神が、皆さんの今後の生きがい、働きがいの一助となればと期待しています。



## 「行学一体・報恩感謝」を 忘れず歩みを進めてほしい

皆さん、ご卒業おめでとうございます。理事  
長の中村見白でございます。

皆さんは学業生活を通して、社会人としての基礎教養を修得し、さらに専門知識を学んでこられました。これからは、学生生活で得られた貴重な経験を自分なりに整理し、今後の人生に役立てていくことが大切です。期待に満ちた旅立ちのこの時、愛知学院大学の卒業生であることの誇りを胸に、建学の精神である「行学一体・報恩感謝」を常に忘れずに歩みを進めてください。

教職員一同、卒業してからも皆さんが心地よく学び舎に帰ってこられるように、学生へのより良い教育の提供を第一とし、より魅力ある大学づくりを目指して学校運営に邁進していきます。これからの皆さんの大いなる飛躍を祈念し、私からのお祝いの言葉といたします。



学校法人愛知学院 理事長

中村 見白

## 今こそ知恵と力を！ 学院生ならできる

皆さん、そして支えていただいたご家族等の皆様、ご卒業、誠におめでとうございます。本学のすべての同窓会・同窓生を代表して心よりお祝い申し上げます。

さて皆さんの学生時代は、新型コロナウイルスの流行というこれまで経験したことのない大変厳しいものとなりました。しかし、一方で皆さんはそれを克服しようとする人類の叡智の目撃者にもなりました。「世間に存在する悪は、ほとんど常に無知に由来するものであり、善き意志も、豊かな知識がなければ、悪意と同じくらい多くの被害を与えることがありうる」。カミは名著『ベスト』の中でこう書いています。歴史の目撃者たる皆さん、本学で学んだこと、経験したことを力に、ぜひ社会と人類の道標となってください。今こそ知恵と力を！学院生ならできる。そう信じて社会に飛び立つ皆さんを応援したいと思います。



愛知学院大学文学部・心身科学部  
同窓会会長

小田 久洋

## 感謝の心で 人に与える社会人へ

皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、今日まで支えてこられた保護者の皆様にも心よりお祝い申し上げます。

昨年に引き続き、新型コロナウイルスの影響で大きな変化を余儀なくされた中で卒業を迎えることになってしまいました。しかし、こんな時でも皆さんは、本学の理念のもと、大学生活の中で感謝の心を高めてこられたと思います。社会が求めるのは、高い専門性、即戦力に加え、感謝の心で人に与えることのできる。「感謝力」を持った人材だと感じます。社会で活躍する上で不安なことは多いと思いますが、「行学一体・報恩感謝」の理念が胸に刻まれている皆さんの前途は明るいと確信しています。どうか、人の喜びを我が喜びと思える社会人になられるようご期待申し上げます。お祝いのご挨拶といたします。



愛知学院大学後援会 会長

伊藤 貴志

# 卒業生へ贈る言葉

各学部の先生方から  
卒業生へのメッセージです。

*Message to Graduate*

## 健康で幸福な未来へ



心身科学部長  
丸山 和佳子

ご卒業おめでとうございます。今、皆さんの心にはどのような思い出が去来しているのでしょうか？楽しいものだけでなく、ほろ苦いもの、あるいは辛かったこともあるかもしれませんね。将来、これらの経験すべてが皆さんを必ず助けてくれるはずです。どうか大切に心の奥にしまっておいてください。心身科学部は「心と身体の健康」を学ぶ学部です。これから皆さんが健康を通して自分と周りの方々に幸福をすることで、社会を照らす一灯となることを願っています。

## 学士(文学)の皆さんへ



文学部長  
藤澤 良祐

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんは宗教文化学科・歴史学科・英語英米文化学科・日本文化学科・グローバル英語学科での4年間の学修を通して、学士(文学)の学位を取得されました。特に、昨年に引き続きコロナ禍の中で卒業論文の作成や就職活動において例年になく困難や苦労があったと推察されます。ウイズコロナ社会は当分続きそうですが、愛知学院大学での4年間で得たことを糧に、社会人としてさまざまな分野で活躍されることを祈念しております。

## 愛知学院という「根」を張って



経営学部長  
平賀 正剛

ご卒業おめでとうございます。今後、皆さんが充実した人生を送られるよう祈念しています。人間にはいくつかの「根」があります。それは「帰属意識」と言い換えても良いでしょう。この「根」がないと、人は疎外感に苛まれ、ともすれば「今だけ、金だけ、自分だけ」という行動に走ってしまいかねません。卒業によって皆さんには「愛知学院」という新たな「根」ができました。どうかこの「根」を大切に、自分自身を律し、社会で活躍されることを期待しています。

## これからも 愛知学院ファミリーの一員



商学部長  
青木 均

ご卒業おめでとうございます。皆さんの学生生活は、約半分の期間コロナ禍に見舞われました。しかし、そんな中でも卒業に至るまで柔軟に対応し学生生活を続けました。その経験は、卒業後に生きてくるでしょう。たくましく生きてください。機会があれば母校を訪ねてください。キャンパスは皆さんの心に栄養を与えてくれるでしょう。悩みの解決や飛躍の糸口を与えてくれるかもしれません。今後も、自分が愛知学院ファミリーの一員であることを忘れないでください。

## 未知との出会いを恐れるな！



法学部長  
杉原 丈史

ご卒業おめでとうございます。出会うこと自体が困難な昨今ですが、考えてみれば、法の適用は常に新しい出会いをもたらしてくれます。判例に出てくる事件は、どれひとつ同じ顔をしていません。そんな初めての出来事に対して説得力のある対処法を探すというシミュレーションを、この度、法学部を卒業される皆さんもたくさん積んできています。だからこそ、社会へと旅立っていく皆さんには、お祝いとともに心からのエールとして、タイトルに挙げた言葉を捧げます。

## 成功者よりも価値ある人物に



経済学部長  
吉田 雅彦

皆さん、ご卒業おめでとうございます。コロナ禍に翻弄され、思い描いた学生生活が送れず、脾肉の嘆をかこつこととなったでしょう。しかし、数々の艱難辛苦を乗り越え卒業に至ったことは、立派であったと思います。人生の物語は今から始まりです。経済的あるいは物質的に恵まれた成功者になろうとするのではなく、むしろ価値ある人物になってください。それは他者や社会にどれほど与えられるかによって測られることでしょう。皆さんの今後のご活躍を心より祈念します。



## 就職活動体験記

今春、社会人としてスタートする学生に就職活動を振り返ってもらいました。

## 心身科学部



### 医療系の就職活動も キャリアセンターが手厚く支援

岡本 菜奈

内定先 国立大学法人 富山大学附属病院

この春から大病院で言語聴覚士として働きます。もともとは養護教諭志望でしたが、学びを深める中で幅広い年齢層の患者様と関わることに魅力を感じ、言語聴覚士をめざすようになりました。それからは、国家試験に向けて勉強に力を入れる毎日。高い意識を持って講義にのぞみ、定期試験にもより真摯に取り組むようになりました。その積み重ねが基礎となり、学力向上につながったと思います。身近に医療従事者がいない私にとって、就職活動で頼りになったのはキャリアセンターです。履歴書の添削と面接練習を中心に指導していただきました。おかげで、本番に自信を持って挑むことができたと思います。就活中、不安になった時に支えてくださった言語聴覚士コースの先生方にも感謝しています。

## 文学部



### チームメイトとの絆が コロナ禍の就活の支えに

榊原 杏奈

内定先 東海旅客鉄道株式会社 (JR東海)

中学・高校で打ち込んだバレーボールに、より高いレベルで取り組める環境だと思い、愛知学院大学に入学。在学中は多くの時間を部活に費やし、その中で困難な状況を乗り越える力、チーム作りをするための人との接し方、自分をコントロールする力を身につけることができました。コロナ禍でのイレギュラーな就職活動は大変でしたが、チームメイトと情報共有して支え合ったことで乗り切れたと思います。また、キャリアセンターの方にも助けていただきました。丁寧に話を聞いて面接練習にも付き合ってくれたことが、良い結果につながったと思います。入社する鉄道会社では、お客様を不安にさせないよう自信を持って業務に取り組みたいと思います。そして、より多くの経験を積み、堂々と仕事ができるようになりたいです。

## 経営学部



### 仕事を通して地域医療の 発展に貢献したい

新井 匠

内定先 中北薬品株式会社

将来、経営者になりたいという夢を持っていたため、企業のトップや起業家を数多く輩出している愛知学院大学を選びました。親が卒業生で以前から愛知には知り合いが多く、キャンパスがある街に親近感を抱いていたことも、大学選びの後押しになりました。就職先として医薬品を扱う会社を選んだのは、祖父の病気がきっかけ。症状が重くなり大変そうな様子を見て、自分も手助けしたいと思ったのです。就職活動では、キャリアセンターの担当者の方にお世話になりました。丁寧に話を聞いて有益な情報をたくさん提供してくれたおかげで視野が広がり、自分に合った企業選びができたと思います。今後は仕事を通して地域医療のさらなる発展に貢献し、少しでも多くの命を助けることにつながりたいです。

## 商学部



### 学びを通して見つけた 自分のキャリアビジョン

藤原 穂野香

内定先 富士電機ITソリューション株式会社

愛知学院大学は商学部から始まった大学で、特にマーケティング分野に専任教員が多く、ビジネスを深く学べます。将来、どんな業界・職種に進んでも役立つ経営・商学を学びたいと思っていた私には最適な環境でした。IT業界を志望したのは、1年次に履修した「商学入門」の授業がきっかけ。さまざまな分野の課題に対し、ITを用いて最適なソリューションを考え提供するという社会貢献度の高さに魅力とやりがいを感じ、興味を持つようになったのです。また、就職ガイダンスやキャリアセンターを通し、業界・職種選びのアドバイスを受けたことも決め手になりました。就職活動で役立ったのは、模擬面接と卒業生の就職活動体験記。企業ごとに傾向を把握して対策でき、内定獲得につながりました。

## 法学部



### 社会人として必要な行動力や コミュニケーション力を磨いた4年間

古川 千里

内定先 株式会社ジェイアール東海高島屋

たくさんの学生が集い活気に満ちたキャンパスは、高校生の頃に思い描いた大学像。興味のある法律を学ぶ理想的な環境として、愛知学院大学法学部を選びました。大学では、学部の勉強に取り組む中で、計画性や行動力を身につけることができました。また、サークル活動を通してたくさんの人と関わり、コミュニケーション力を養えたと思います。卒業後の進路として百貨店を選んだのは、幼い頃の家族との思い出がきっかけ。今度は運営する側に回り、たくさんの人を楽しませたいと思ったのです。就職活動では、入社後、自分が活躍する姿をイメージすることをモチベーションに、面接練習などに取り組みました。今後は、多くのお客様に喜んでいただける仕事を企画立案できるようになりたいです。

## 経済学部



### 在学中に取得した金融系資格の 知識が企業から評価された

吉留 和宏

内定先 株式会社十六銀行

大学では、専攻の経済以外にも心理学や論理学などさまざまな分野を学びました。またエクステンションセンターを利用してファイナンシャル・プランナーや簿記の資格取得にも挑戦。身につけた知識を面接で褒めていただくなど、就職活動にも役立てることができました。ゼミやサークル活動、アルバイトなど、学業だけでなくさまざまなことに取り組んだことも評価につながったと思います。金融業界を選んだのは、商品でなく自分自身で勝負できる点に魅力を感じたから。大学を卒業して社会に出ても、学ぶことはたくさんあります。それなら、人生に不可欠なお金と経済について勉強し続けたいと考えたことも、銀行を志望した理由のひとつ。今後はさらに自分を磨き社会に貢献していきたいです。

## 卒業生の主な就職内定先

一覧はホームページをご覧ください▶

<https://navi.agu.ac.jp/career/naitei/>



## 公務員・教員に内定

### 国家公務員



**公務員担当の親身なサポートが不安の払拭と学力向上につながった**

篠田 真大 経済学部 経済学科

内定先 静岡地方検察庁

公務員を目指すと思ったのは大学3年生の時です。公務員講座は受講していたものの、コロナ禍のため動画視聴による学習が中心。また、専門試験対策は何をどう始めればいいのか分からず、とても不安でした。そんな時に支えになったのが、キャリアセンターの公務員担当の方々。相談の場を設けて不安を払拭してくれたほか、具体的な勉強法をアドバイスしてくれるなど、とても親身になってくれました。実際、教わった方法で法律系科目の学習に取り組んでみると理解が深まり、勉強が楽しくなっていました。最終的に記述問題も難なくこなせるようになり、筆記試験で理想点が取れたことが合格につながったと思います。また、志望動機や自己PRの書き方から模擬面接まで、トータルなサポートも心強かったです。

### 地方公務員



**1年次から公務員講座を受講早いスタートが合格の決め手に**

中村 文香 経営学部 経営学科

内定先 名古屋市消防局

父が事故に遭い助けていただいたのがきっかけで、消防官を志望するようになりました。大学入学後は、名古屋市大学生消防団に入団し、防災のPR活動などに積極的に参加しました。公務員試験対策は、1年次から公務員講座を受講するなど早い時期からスタート。また、キャリアデザインの授業でSPI対策に取り組んでいたため、採用試験の形式が教養試験からSPIに変更になっても対応できました。特に役立ったのが、先輩たちの合格体験報告会。また、名古屋市消防局との連携講義で現役の消防官の方から話をうかがい、消防職への理解を深めることができました。就活中、ずっと頼りにしていたのはキャリアセンターです。試験が進み最終面接の時期になるとマンツーマンで面接指導してくださり、とてもありがたかったです。

### 教員



**繰り返しの練習と対策ノートで苦手だった面接を克服**

山崎 優也 文学部 グローバル英語学科

内定先 岐阜県教育委員会(中学校教諭)

教職課程を履修でき、かつ自分の英語能力を高められる環境として最適だったのが、愛知学院大学。グローバル英語学科は短期留学ができる点も魅力でした。教員採用試験合格の決め手になったのは、面接対策です。教職支援センターの先生が、対面やリモートで繰り返し面接練習をしてくださりました。その際には、独自の「面接ノート」を用意。先生からいただいたアドバイスをその場で記入し、話し方や話す内容の改善につなげました。おかげで苦手だった面接も克服でき、本番では自分の中で最もいい答え方ができたと思います。また、3年次に受講した教員採用試験対策講座も勉強の支えに。膨大な試験範囲から押さえておくべきポイントなどを解説していただき、とてもわかりやすかったです。

## 総合政策学部



**業界1位企業の営業として海外で活躍できる人材に**

加藤 諒一

内定先 アイカ工業株式会社

愛知学院大学を選んだのは、東海地区でトップクラスの硬式テニスの強豪校だから。小学生の頃から続けていたテニスで結果を出したいと考えました。4年間テニスに打ち込み学んだのは、継続することの大切さと諦めない姿勢。就職活動においても、それが自分の軸となりました。企業選びでは、キャリアセンターの方に相談に乗っていただきながら、興味があったインテリアや空間づくりを軸に検討。化粧板などの住宅関連用品のデザインや視覚効果によって、人々の生活をより豊かで楽しいものにできることに魅力を感じ、アイカ工業を志望しました。内定獲得の決め手になったのは、部活動で培った責任感や使命感。今後は海外で活躍する人材になり、業界1位の会社に貢献したいです。

## 薬学部



**メーカーで活躍する卒業生からのアドバイスが就活の自信に**

竹中 利之

内定先 シミックCMO株式会社

6年間を通し、医薬だけでなく人体のしくみや分析機器についてなど幅広い専門知識を得ることができました。そのことは、就職活動における職種理解に大いに役立ったと思います。進路選択のきっかけになったのは、薬局や病院での実務実習で多くの患者様と接したこと。薬の効果に対する疑問の声に答えたいという思いから、医薬品の品質を担保する役割を担う品質保証職を目指すようになりました。そこで、その職で活躍する卒業生の先輩を大学から紹介してもらいオンラインで面談。仕事内容や求められる専門知識などについて詳しく教えていただいたことが、就職活動の自信につながりました。また、同じメーカーを目指す仲間との存在も大きな支えでした。今後も多くを学びキャリアアップを目指します。

## 短期大学部



**早い時期のガイダンスで余裕をもって就活をスタート**

佐藤 茉智子

内定先 医療法人 雅翔会 橋本歯科医院

大学で口腔内と全身の健康の関係性、口腔の健康維持の大切さを知り、予防歯科に貢献したいと思うようになりました。また、臨床実習で多くの歯科衛生士の方々の働き方を間近で見たり、直接ご指導いただいたことも、いい経験です。つねに患者さんのことを第一に考えるという意識の重要性を知ることができました。就職活動は、大学が早い時期にガイダンスを開催してくれたおかげで、余裕を持ってスタートできたと思います。また、医院選びのポイントを先生が教えてくださることもあり、スムーズな進路選択につながりました。そして決めたのは、予防歯科に力を入れて取り組んでいる医院。これからも学び続ける気持ちを忘れず、患者さん一人ひとりに合わせた処置ができる歯科衛生士を目指します。



# 大学の つくり方

アイガク部署研究

#03

国際交流  
センター編

WHAT'S ?

国際交流センター って

## こんな部署

学内での異文化交流、海外留学サポート、海外からの留学生支援の三つの柱を軸に、学生と世界をつなぐ役割を担う部署。所長を務める本学教授を筆頭に経験豊富な職員たちが、グローバル人材育成につながるさまざまな取り組みをおこなっています。

あまり知られていない大学のバックヤード。見えないところで学生支援に奮闘する各部署の役割と職員の仕事を紐解きます。

## PICK UP WORKS

### VOICE



English Loungeに行く前のウォーミングアップとして、まずはここで英語に慣れることから始めるのもおすすめ。英語や就職の相談だけでなく、誰かと話したい時に気軽に訪ねてください。

北川 遥南さん(左) 坂田 宜子さん



学習  
支援室

ANA中部空港株式会社から出向中のスタッフ2名が常駐。英文記事を読む「10分英語」などを通し、学生の習熟度に合わせて英語学習を支援します。

### English Lounge



LA\*を務める学生たちが運営するキャンパス内留学の拠点。誰もが気軽に立ち寄り、英会話や学生主体のオールイングリッシュイベントを楽しんでいます。  
\*留学経験者がラーニングアシスタントとして活動

### VOICE

学生たちと楽しく交流しながら、自然に英語力を磨けるよう導いています。航空業界を目指す学生の相談に乗ることもあるんですよ。夢に向かって頑張るみんなから元気もらっています。



ジョーダン 真里菜さん

コロナ禍でも学生の満足度を上げるさまざまな施策を企画・実施中!

「キャンパス内留学」をスローガンに、学内での国際交流の場づくり、語学学習サポートに力を入れています。2021年4月からはANA(全日本空輸)中部空港株式会社の社員がスタッフとして加わり\*英語スキルや実務での経験を生かしたイベント、学習プログラムなどを企画・実践。学生たちはさまざまな活動に主体的に取り組み、経験値を上げています。

\*特任助手として2023年3月まで勤務の予定。



## キャンパスでの 国際交流サポート

空港地上支援会社  
社員が活躍中

英語に堪能で実務経験豊富な3人のスタッフが学生を手厚くサポート。

## 海外留学サポート

海外の提携大学への交換留学、語学研修、グローバル人材育成プログラムに参加する学生を支援。準備段階から留学中のサポート、帰国後のフォローまで手厚くおこないます。新年度から海外危機管理を専門とする民間企業と提携するなど、体制をさらに強化中です。



### VOICE

留学に関する相談や各種手続きのサポートのほか、新規提携校の開拓もセンターの役割。コロナ禍でストップしていた留学も、旅行者や提携校と連携し、一部再開できました。



事務長 加納 勉さん

## 外国人留学生サポート

本学で学ぶ外国人留学生のさまざまな相談に対応し、入国管理局とのやりとりなどもおこないます。日本人学生が世話係としてつくチューター制度を採用。日本語での授業や課題にスムーズに取り組み大学生活になじめるよう導くとともに、日本人学生の異文化体験にもつなげています。



### VOICE

外国人留学生が直面する課題は多種多様。チャットなどでつながり普段からきめ細かくケアしています。政治や環境問題に高い意識を持つ彼らと積極的に交流し、日本人学生も刺激を受けてほしいです。



荒木 旬さん

# シューカツの現場から

VOL.23

MESSAGE FROM CAREER CENTER

今回のお題

## 学生の二極化

コロナ禍で通学の機会が減る中、周りからの影響を受けにくく、友人の就活状況が見えづらい状況が続いています。その結果、「就活に積極的な学生」と「就活に消極的な学生」の二極化が顕著に。お子さんが就活に消極的にならないよう、今からできることを一緒に考えてみましょう。

## 1 今、就活で起きていること

### 積極的な学生の特徴

- 就活ツールを駆使して、情報収集に長けている。
- 早期に動いている。  
(業界・企業研究、自己分析ができています)
- 志望動機が明確。
- 自分が入社したい企業に絞って採用試験を受けている。

### 消極的な学生の特徴

- 就活のやり方がわからない。情報収集の方法がわからない。
- 就活のスタートが遅い。  
(業界・企業研究、自己分析ができていない)
- 志望動機が不明確。
- 手あたり次第、採用試験を受けている。

### 志望企業に納得内定

#### 要因は？

#### ● 情報の差

就活は情報戦。ガイダンス・企業説明会・OB訪問など、自分の足を運ばなければ得られない情報が多くあります。まずは行動が大事!

#### ● スタート時期の差

情報収集・業界研究・自己分析など、すべきことは山積み。対策不足は、すべて自分に跳ね返ってきます。就活のスタートはできる限り早く!

積極的に動いて納得内定を勝ちとろう!

### 就活長期化

## 2 鍵はインターンシップ

二極化を制する鍵は「インターンシップ」です。実は、企業の約7割がインターンシップを採用活動に活用しているという調査結果もあります。企業側も「インターンシップに参加する学生＝意欲がある優秀な学生」を確保しやすいからです。この傾向は、今後ますます強くなる可能性があり、インターンシップに参加することは就職活動において必須と言えるまでになってきました。とはいえ、コロナ禍によるオンラインの普及でインターンシップの種類は多様化しており、目的に応じて参加プログラムをよく検討する必要があります。

### ／ インターンシップのメリット ／

- ☑ 企業の約7割が採用活動に活用
- ☑ 入社後のミスマッチが防げる
- ☑ ここでしか聞けない話・知れない情報がある
- ☑ 単位認定される(5日間以上のプログラム)

### 早めに準備! 目的別オスめのインターンシップ

インターンシップにもいくつか種類があります。目的にあったインターンシップを選ぶ!

オスめ!



興味ある業界・仕事を詳しく知りたい!

▶ 仕事体験できるものがオスめ!

仕事内容が自分に合うかどうかを確認しながら参加してみよう。

ワークショップ型/職業体験型



業界を知りたい! 仕事内容を知りたい!

▶ 参加日数が少なく、オンラインで気軽に参加できます!

企業によっては選考がない場合もあります。

1DAY仕事体験/オンライン型



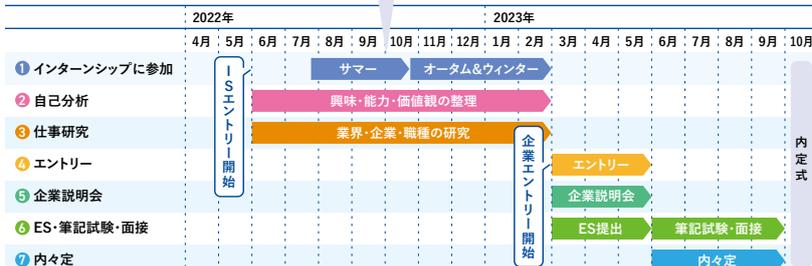
志望企業を絞り込んだら...

▶ 秋・冬のインターンシップに参加しよう!

参加しないと企業の早期選考を受けられない場合もあるので注意が必要です。

秋冬・長期インターンシップ

（就活スケジュール）



### INFORMATION

2・3年生対象

4月中旬

## 就職ガイダンス

インターンシップの説明を中心にを行います

- インターンシップ概要
- インターンシップへの参加方法
- 事前研修説明

### その他プログラム

- キャリアセンター紹介
- AGUキャリアナビの進路希望登録
- 就職サイトの案内など

参加者の方には  
キャリアプランガイドを  
配布します!



## 文学部創設50周年記念講演会 ロバート・キャンベル氏を招き開催

文学部創設50周年記念事業として、2021年11月18日（木）、早稲田大学ロバート・キャンベル特命教授の講演会を100周年記念講堂にて開催しました。「文学が紡ぐ人々の「絆」―大都市における近世日本の文化と情報機構―」と題し、広義の「文学」を介して、近世日本に生きる人々の情報との関わり方について講義。多くの興味深い資料とともに多様な「情報」を鮮やかにつないでみせるキャンベル氏の言葉に参加者は深く聞き入っていました。コロナ禍により1年の延期を余儀なくされた事業でしたが、文学部・心身科学部同窓会の多大なご協力のおかげで大盛況のうち無事に閉会できました。



## JICA草の根技術協力事業 報告会を開催

本学は、JICA草の根技術協力事業「心理リハビリテーション」を通して発達障害児等支援指導者育成事業」を通じ、特別支援教育を実践する指導者らのニーズが高まっているベトナム・ダナン市において、心理・障害児教育・福祉等の分野で活用されている心理リハビリテーションの指導者支援を実施してきました。2018年から続けてきた活動の報告会を1月13日（木）、日進キャンパスにて開催。取り組みをサポートしてきた心身科学部の吉川吉美教授は「今回のプロジェクトでベトナムにおける心理リハビリテーションとしての動作法普及の基盤は整った。今後も継続させていきたい」と語りました。



## 2021年度 教育優秀賞受賞者4名を表彰

2021年12月8日（水）、日進キャンパスにおいて2021年度の教育優秀賞の表彰式を執り行いました。本学における教育活動において優れた業績を挙げた教員を表彰するこの賞。第1回となる今回は、各学部・教養部から候補者を募り、厳正な審議を経て4名の教員に授与しました。受賞者と活動内容は次の通りです。



（左から）川口 勇作 講師、鈴木 佳代 准教授、田淵 雅子 准教授、鈴木 慎太郎 教授

### 法学部 鈴木慎太郎教授 総合政策学部 鈴木佳代准教授 教養部 川口勇作講師

コロナ禍におけるオンライン及びオンデマンド授業において教員と学生及び学生相互の双方向的な授業を積極的に展開し、主体的な学びを促す授業運営に尽力。さらに、オンライン授業が有する、将来に向けた教育的可能性を具体的に示した。

### 歯学部 田淵雅子准教授

歯科医師国家試験対策を見据えたカリキュラムの大幅改訂に際して統括的役割を果たすとともに、その教育的効果を確認すべくパイロット試験や授業アンケート調査等を経年的に実施。学部FD活動として積極的に取り組み、授業改善に大きく寄与した。



## 秋の叙勲、秋の褒章で 本学関係者が受賞

令和3年秋の叙勲において、本学の黒神聡名誉教授が瑞室中綬章（教育研究功労）を受章しました。黒神名誉教授の研究分野は国際法学。先生の永年にわたる教育・研究の功績に本学からも敬意を表します。

また、令和3年秋の褒章において、総合政策学部 森正教授が藍綬褒章を受章しました。永年の「明るい選挙推進愛知県協議会長」としての選挙関係事務功績によるもので、今後の活躍が期待されます。



## 「英語と日本語によるスピーチの祭典」 をオンラインにて開催

国際交流センターが主催する年に一度の全学的なスピーチコンテストが、英語部門と日本語部門（留学生のみ出場可能の二部門で開催され、2021年11月29日（月）、審査結果が発表されました。コロナ禍のため昨年度は中止となりましたが、今年度は出場学生のスピーチ動画をYouTubeで公開するというスタイルで開催。英語部門には8名、日本語部門には1名の参加があり、それぞれ選択したテーマについて自分の主張、意見をスピーチ。動画はこれまでにおよそ4500回再生されています。壇上でのスピーチは叶わなかったものの、動画公開という方式が強みとなり、例年より多くの人に届けることができました。各部門の入賞者は次の通りです。

### ■英語部門

【最優秀賞】 渡辺美来さん（文学部グローバル英語学科3年）

【優秀賞】 前原理乃さん（歯学部歯学科1年）

【入賞】 位田彩歌さん（総合政策学部総合政策学科2年）

### ■日本語部門

【最優秀賞】 デヴィアブトウリ マハニルマレンさん（法学部法律学科4年）



## 陸上競技部石田駆さんを特別表彰 卒業後はトヨタ自動車へ

今春、総合政策学部を卒業した石田駆選手が、2021年10月9日（土）、10日（日）に開催された「兵庫陸上競技秋季記録会」において、男子200m上肢障がい（T46）22秒29（1.03）のタイムで日本記録を更新。今回の記録更新により、100m、200m、400mの短距離3種目で日本記録保持者となりました。また、在学中の東京2020パラリンピック競技大会100m（T47）5位入賞等の活躍をたえ、令和3年度学位記授与式において特別表彰を受けました。

4月からはトヨタ自動車株式会社に入社し、活動します。今後も引き続き皆さんの応援をお願いします。





## AGU CUP 2021を開催

2021年12月11日(土)、12日(日)、SDGsに掲げられている目標を学習することを目指すサッカー大会「AGU CUP 2021」を開催しました。地域の12歳以下の子どもたちによる合同チームを作り、彼ら主体でゲームを進行。本学サッカー部員が各チームをサポートしながら、子どもたちがSDGsに興味を持てるよう働きかけました。今大会ではSDGsを推進する「BEYOND Jプロジェクト」も実施。企業と連携し、参加者、観戦者、スタッフ全員に対しベクトルボールと使い捨てカップを禁止、マイボトルやマイカップの持ち込みを推奨したほか、プラゴミ削減の意識を高める取り組みや「プラゴミクイズ」などもおこなわれました。



## 「道標」の完成報告会 次年度編集スタッフ説明会を開催

本学OBの社長を取材した雑誌「道標(みちしるべ) | Heads of 2661」の完成報告会と次年度編集スタッフの説明会を、2021年11月22日(月)名城公園キャンパスにて、26日(金)日進キャンパスにて開催しました。東京商工リサーチの「2021年」全国社長の出身大学調査では、本学出身社長数が2671人で全国18位、愛知県で1位となっております。「道標」は、その方たちの活躍を紹介すべく、学生が取材・執筆・誌面デザインを手がけた雑誌です。報告会では編集スタッフが制作を通して成長した点ややりがいを語り、説明会には次年度スタッフ希望者が多数集まりました。



## 後援会レポート

### 1 2021年度大学後援会保護者相談会を 全国4会場で実施

2021年10月2日(土)より約2週間にわたって、全国4ヶ所で2021年度大学後援会保護者相談会を開催しました。昨年度より保護者専用サイトを開設し、保護者相談会のWebでの予約が可能になりました。新型コロナウイルス感染症感染拡大の中での開催となりましたが、本学を含めた全会場で235組287人の皆さまにご参加いただきました。

各会場、貴重なご意見やご要望を頂戴し非常に有意義な会となりました。いただいたご意見・ご要望を検討し、順次改善につなげてまいります。



### 2 各キャンパスで100円朝食・200円夕食 学生の健康をサポート

学生の健康サポートのため、大学後援会の助成により特別価格にて食事が提供されました。楠元キャンパスでは2021年11月15日(月)~12月20日(月)の間、国家試験に向けて勉学に励む薬学部・歯学部・短期大学の学生を対象にカフェテリアにて夕食セットを200円で提供。また、日進キャンパス・名城公園キャンパスでは12月1日(水)~12月23日(木)の間、「朝食を食べる習慣」を身につけ生活の基盤が作れるよう、100円モーニングが提供されました。多くの学生の利用により、各キャンパスとも大盛況のまま終わることができました。

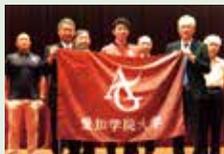


### 3 愛知学院大学 後援会奨励金支給について

研究・スポーツ・文化芸術活動、ボランティア活動等において優秀な活動を行った学生・教職員の団体・個人に支給される愛知学院大学後援会奨励金。2021年度は下記団体・個人に送られました。

#### 石田 駆選手(総合政策学部4年)

東京パラリンピック陸上競技男子400mT47、100mT47に日本代表として出場、2021年7月21日(水)、30万円が支給されました。



#### 吉田 萌選手(本学職員)

東京オリンピックアーティスティックスイミング競技デュエット、チームに日本代表として出場、2021年12月23日(木)、30万円が支給されました。



#### 経営学部 「なごめんプロジェクト」

なごめんとは経営学部の授業「バーチャルカンパニー」において結成された仮想企業です。名古屋市北区にある株式会社角千本店と協力し、「きしめんチップス(みそ味)」を共同開発しました。2021年12月23日(木)に開催された後援会本部役員会において、なごめん所属の学生がプレゼンテーションを行い、1月27日(木)、奨励金として5万円が支給されました。



# 日日是好日

vol.3

暮らしに役立つ禅の教え



解説していただく先生



禅研究所 所長 岡島 秀隆先生

愛知学院大学教養部教授、曹洞宗雲松寺住職。主な研究分野は宗教哲学、比較宗教思想、禅仏教。2021年、禅語を読み解く教養書「思考禅のスミ―仏祖の言葉を読んでもよう―」（北樹出版）、比較解釈を方法論とする道元思想の研究書「対話哲学としての道元思想」（法藏館）を上梓。

明治9年、曹洞宗の専門学支校として開設され「行学一体・報恩感謝」を建学の精神に掲げる愛知学院。その教育の元となるのが禅の考え方で。それらはまた、今日に伝えられている数々の「禅語」にも集約されています。そんな禅の言葉を紐解けば、毎日をたくましく生きるヒントになりそうです。

## 今回のテーマ

ひやくしゃくかんとうにいっぽをすすむ

## 百尺竿頭進一步

三月。新年度が始まるのを目前に控え、学生や新社会人になる若者たちは、それぞれにこれからの自分の生活や生き方、もう少し先の未来について、さまざまな思いを胸に抱いていることでしょう。そんな彼らに贈りたいのが、今回ご紹介する禅語「百尺竿頭進一步」。唐代の長沙景岑の言葉です。「百尺竿頭」とは、三〇メートルを超える長い竹竿の先端のこと。禅門では、修行の結果、到達した悟りの境地のことを指します。己が悟りを開いて満足するだけではいけない。停滞することなく、さらに先に進んで利他のために尽くそう。そんな意味を持ちます。が、学生たちにとっては「努力して目標を達成したら、さらに一步先をめざそう」という言葉に置き換えてもいいかもしれません。竿

の先から踏み出すその先は、空中です。無限に広がる未知の世界に、足場もないまま飛び出していくのは、とても勇気のいることでしょう。でも、受験勉強や就職活動に真剣に取り組み最後までやり遂げた経験は、確かな力になってくれるはず。自分を信じ、大学や社会といった新しい世界に、思い切って飛び込んで欲しいと思います。勇気を持って前進することが、さらなる成長への第一歩。生きるということとは、その一歩の積み重ねです。未知なるものを恐怖ととらえず、これから広がる可能性だと思えば、どんな経験も楽しめるはず。新たな一歩を踏み出すすべての人のエールとして、この言葉を贈ります。

原典…『景德伝燈録』長沙景岑章



illustration : 児島 衣里

## 愛知学院大学 三仏忌・両祖忌・達磨忌

「三仏忌」は、「三仏会」ともいわれ、釈尊の生誕、成道、涅槃を記念する法要で、「両祖忌」は日本曹洞宗の両祖（曹洞宗の開祖・道元禅師と、その教えを全国に広めた瑩山禅師）を祀るための法要です。また、「達磨忌」は禅をインドから中国に伝えた菩提達磨を祀る法要。愛知学院大学では、「行学一体・報恩感謝」の精神を涵養する機会として、毎年この大切な法要を執り行っています。

